



広報

なきじん

1988年

9月

No. 154

毎月1日発行



今帰仁村の人口

昭和63年 7月31日現在

世帯数

男	女	3,004(-2)
4,837	4,880	
(-9)	(+1)	

忠実に実現するためには全力を傾注し、村民の期待にお応えする決意であります。

尚一層のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。
おわりになりましたが村民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ村長就任のごあいさつをいたします。

方面から様々な評価を受けるものと思いますが、私としましては、常に村民の立場から村政を考え行政の民主化の為に誠心誠意全力を傾注してきたつもりであり、その成果も充分図られて

就任のごあいさつ

守り育ててこられた松田幸福村長の任期満了に伴い、去る八月七日に行われた今帰仁村長選挙において、私は松田革新村政を継承し発展させるため松田村長をはじめ多くの村民有志のご推薦をせんを受け立候補いたしましたところ、村民多数の支持を得て当選をさせていただき、この上ない光栄に存じているところであります。

これもひとえに、村民をはじめ、村外、遠くは本土におられる諸先輩有志の方々の物心両面からなるご協力の賜と衷心より深く感謝を申し上げ厚くお礼を申し上げます。

能を充分に發揮し、村民との対話による開かれた行政をめざさなければならぬと考えております。

政策の立案及びその執行にあたっては、役場職員の計画的な研修を実施し、資質の向上に努めると共に、対話による理解を深めながら執行体制を確立して村民のニーズに応え、村民から信頼され親まれる役場の雰囲気づくりをする所存でございます。

以上、私の基本的な考え方を申し述べましたが、如何なる施策も村民が主体であります。村政の発展を期すためには何よりも大事なことは、村民の「和」で

昭和四十三年八月村長に就任以来、村民の温かいご支援により五期二十年間にわたり町政を負託されてまいりましたが、八月二十二日を以って退任することになりました。この間大過なく任務を全うできたことは、ひとえに村民の皆様のご協力の賜であり、心から厚くお礼申し上



退任のご挨拶
今後とも村勢発展に協力

前今帰仁村長

松田幸福

これから向う四ヶ年間、村政を担当することになりますが、もとより浅学非才の身でその責任の重大さを改めて感じ入っているところであります。しかし村政を負託された以上、常に初心を忘ることなく公約した政策を忠実に実現するため全力を傾注し、村民の期待にお応えする決意であります。

私は常に一万村民と共にを基本に「うるおいと安らぎのある村づくり」のために微力ではあります。が不退転の決意をもつて、村政発展のために邁進する所存でありますので、村民皆さまの尚一層のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

顧り見ますと、この二十年間
国体、国際海洋博覧会、全国一
巡をしめくくる第四十二回国民
体育大会と、歴史を彩る多くの
でき事がございました。この間
の村政運営に関しては、今後各
方面から様々な評価を受けるも
のと思いますが、私としまして
は、常に村民の立場から村政を

大井川河川の改修などが急を要する最大の課題でありました。年月を経てこれら生活基盤の整備充実と共に産業・教育・福祉等村内のあらゆる基盤が毎年に整備拡充されてきたことは、村民の郷土を愛する心と努力の賜であり、誠に御同慶にたえません。特に農業に関して、花卉、西瓜の本土出荷は県下最大の産

実でございます。これら残された課題を解決するには、次期村長を中心に村民の英知を結集しなければならないことは言うまでもありません。

おわりに、村民はもとより議員、区長、各団体・役場職員のこれまでの御協力に対し、深甚なる感謝を申し上げ退任のあいさついたします。

任期満了に伴う今帰仁村長選挙は、八月三日告示され、七日に投票が行われました。翌八日に村コミュニティセンターホールでの開票の結果、村教育委員会前学校教育課長の上間博安氏が初当選を果たし、松田幸福村長が築いた五期二十年の革新村政を受け継ぎ第二十代今帰仁村長に就任しました。

今選挙には無所属の「間氏」(五
八)、革新統一と、同じく無所
属で会社役員の座間味邦夫氏(五
二)、自民党推せんの二人が立
候補、激しい選挙戦を展開して
きました。

▲村職員に迎えられ初登庁であいさつする上間新村長

得票結果	
上間 博安	3,158票
座間味邦夫	3,003票
投票総数	6,191票
有効投票数	6,161票
無効投票数	30票
不受理持帰り数	0票

選 証 書 附与され 選管委員長から

八月十八日午前十時から村コミュニティセンターで行われました。式には、選挙管理委員長を始め、村議区長、明るい選挙推進協議会委員など約八十人が出席。経過報告、上間精光選挙管理委員長のあいさつの後、上間博安氏へ当選証書が附与されました。

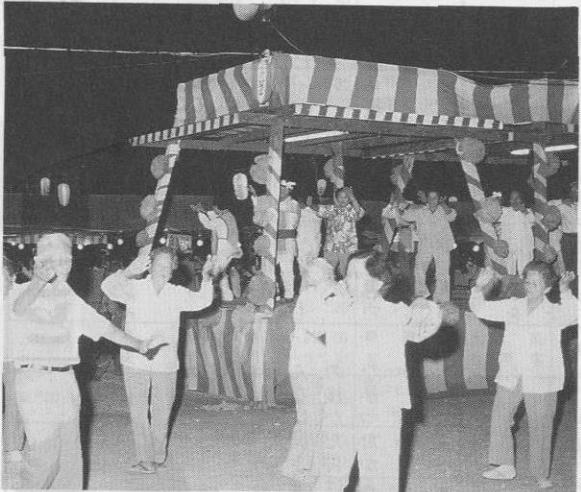
それを受けあいさつにたつた上間氏は、「村民協力のもとに産業の振興、教育、文化、福祉の充実を図り、若者が夢のもてる村づくりに全力を注ぎ、村民の皆さんの負託に応えてまいります。明日の今帰仁村建設のために大同団結してほし」と決意を新たにしていました。



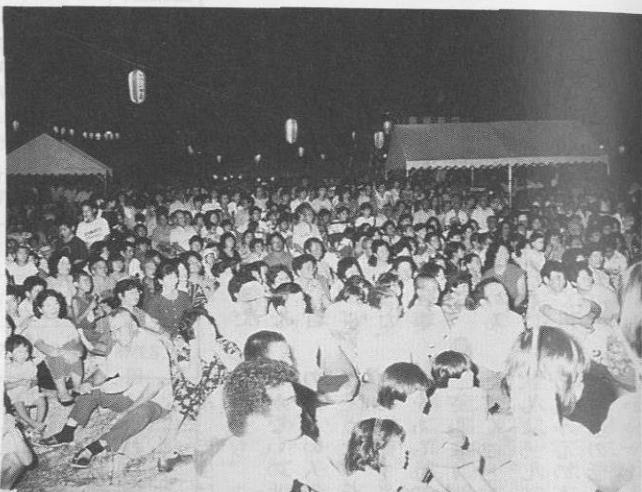
上間選管委員長から当選証書を
附与される上間博安氏



▲楽しいダンスパーティー



▲朝まで踊り続けたい気分です！



▲人、人、人でまつり会場もごらんのとおり

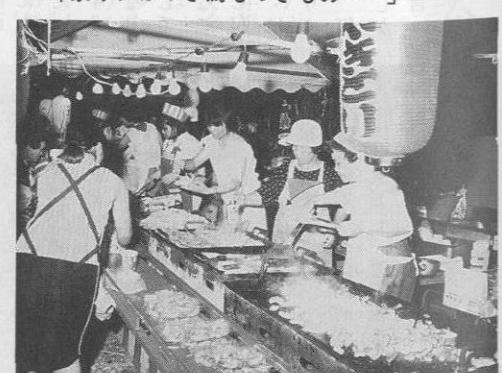
▼この歌手はだれ？



▼婦人もまつりの主役



▼「祭りにはやき鳥もつきもの……」

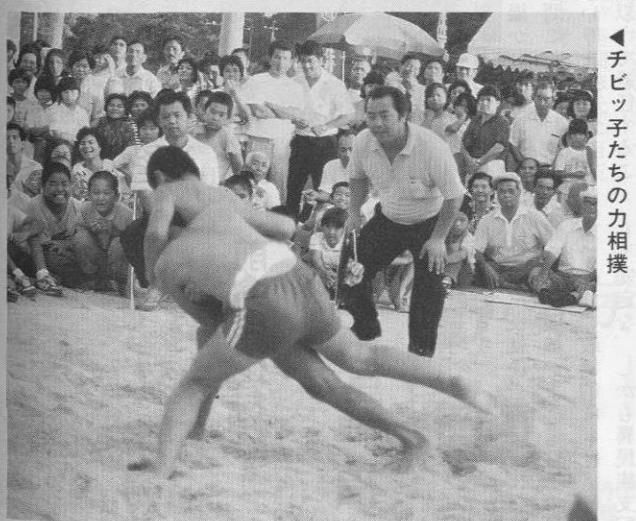


今帰仁村まつり

盛大に楽しく開催

▼実行委員長、副委員長の手によってテープカット

第9回 今帰仁村まつり
とさ・8月13日(土)~14日(日)



▼民謡グループも熱唱で観衆を魅了



すべての村民が一堂に会し、融和を図るとともに協調心と連帯感を高め、産業、教育、文化などの発展を促がし、健康で明るい豊かな村づくりに寄与することを目的に開催されている恒例の「今帰仁村まつり」が八月十三、十四の両日役場西広場を中心を開催された。

まつりは今年で九回目で、子供からお年寄りまで二日間で延べ一万数千人の人出で賑わいを見せました。

十三日午後五時から開会式が行われ、開会宣言のあと祝砲とともに松田幸福実行委員長（村長）と伊集一隆助役、山城辰雄

議長の両副実行委員長の三名の手によつてテープカット。松田村長は「村まつりを契機として行政と村民の一致協力により村の発展のために頑張りましょう」とあいさつ。初日は闘牛大会、チビッ子相撲



として行政と村民の一致協力により村の発展のために頑張りまして、腹話術、盆おどり、花火、カラオケ大会、オバケ屋敷、福社バザーを実施した。夏の夜の風物詩、花火は夜空を彩り、盆おどりとともに家族ぐるみで参加、会場をうめつくした。催し物の終了後も会場の出店には大勢の人だかりがあり、夕方までみんなしながらまつりを楽しんだ。

村民の皆さん、苦勞さまでした。

▼伝統の闘牛も多数のファンを集め、盛況



手に入る恵まれた飽食の環境に
浸つていて、心からの感謝、感
動を忘れていたような思いで色
考えさせられてしまいました。
ほんとうに『ムヌシラサタン』
の言葉でした。

園にはご両親や身内の方々の
面会があります。その姿をいち
早く見つけ涙を流しながら歎声
をあげる子どもたち、ちゃんと
声をかけられた時の天使のような
瞳、笑顔は健常者には表現でき
ないものがあります。その時は、
親子の絆、限りない愛がくり広
げられる一こまです。

そんな時、私は「ナーアガチ、
アガチ」させている自分の子ども
も達を思うと母親としての資格
のなさを痛感してわびしい気持
ちになり、朝まだやすやす眠つ
ている子供達をゆり起こし、顔

通じて改めて、健康の大切さ、
ありがたさ、今日という日を真
剣に一生懸命に生きることのす
ばらしさを学びました。そして
彼等が障害者という感じではなく、
心の豊かな健常者、私は心の障
害者のような気さえするのです。
彼等を世話をしているというよ
り、むしろ、それ以上の貴いこ
とを教えられたような気がしま
す。そのほか、私は美容の技術を
必要とする子ども達のために手
解きすることができ、改ためて
すばらしい再就職だったと感謝
の心で働き続けています。

これから私の人生、まだま
だ色々な困難があると思います、
しかし、彼等の一生懸命生きる
姿を思ううかべながら私も負け
ないように頑張つて行きたいと
思います。



▲激励会には村民ら多数が出席

頑張れ當山選手 ソウル五輪出場おめでとう

村民ら多数が激励

おらが村のオリンピック選手団のソウルでの活躍を一と、村(松田幸福村長)と、体協(伊集隆体協長)の共催による「ソウルオリンピック出場の切符をもとにした當山克也選手の激励会」が七月二十九日午後五時半から(民館)で村民、体協、カヌー関係者ら約二百人が出席して盛に開かれた。

盛んな拍手に迎えられ会場入りした同選手は「オリンピックに向けて順調に仕上がって強豪のソ連、北欧勢に負けないようベストを尽くし、入賞を目指したい」と力強く決意を表明、大きな拍手で祝福、激励を受けた。



松田村長 吉田正善県体協
会長、運天政一県カヌー協会会長らは「これまでの練習では
かつた力と技をすべて出し切
て頑張れ！」と激励のことば
をおくつた。

昭和63年9月1日 広報なきじん

けないかしらと考えました。自分を必要としている所はないだろ、か、一度しかない人生、有意義に過ごさなければなどと考えると胸が高鳴つて落ちつきません。

当たつて碎けろ、私は希望する職を求めて職業安定所を訪ねました。運よく職安の計らいで障害者施設が紹介され、パートで採用が決まった時は、小踊りをしてよろこびました。

一度いいから肢体不自由児施設で働いてみたいという三十年前私が見習看護婦として働いていた頃の夢がかなったからです。

しかし、園児が紹介された時ほんとうにびっくりしました。施設は八十人の園児たちのほか事務、ドクター、ナース、育成

ちようどその日は、自営の美容業が休みの日でした。四人の子どもを登校させ、掃除、洗濯とあつという間に午前中が過ぎ去りました。

一息ついたところで昼食をしながらもう少し社会のために働く

村婦人の主張大会

瞳は語る

湧川婦人会 玉城貞子



話すことはもちろん、飲んだり食べたり、排尿、排便など一切の介助が必要なのです。不安ながらも一生懸命頑張ってみようと思いました。

しかし、職場はバス通勤に不便な場所、勤務も三交替で、日々夜出勤しなければなりません。私は車の免許を持っていて、どうしようかしらと考えを巡らしているうち、子ども達に会つてあつ、私は手足が動くんだ、健 康だ、自転車を乗れるんだ。よし、通勤は自転車にしようと早く決心しました。

それ以来、朝五時から私の活動が始まります。慌しく時間が流れます。そして七時四十分までに家を出て八時三十分の出勤時間に間に合わせます。一分一

校と百人余が共に生活している大家族なのです。子ども達は六病棟に分けられ各病棟六、七人の療育委員で世話を当たっています。

オムツ交替、水分補給の仕事に無我夢中で、話しかけたり、聞いてあけることもなく、一方通行でただ機械的に動くだけの毎日でした。

ある日、学齢児を迎えて来られた養護学校の先生が「貴女はすばらしい仕事に就きましたね大変でしょうが頑張って下さい」と言われました。その時、私は何が素晴らしいんだろうと心の片隅で思いました。

その言葉のもつ意味も分からぬまま、あつという間に六ヶ月が経ちました。やつと仕事にも慣れ、心にゆとりができると園児にもそれぞれ個性があり、また、好き嫌いがあることなども分かるようになりました。そして何も分からぬはずと思つ

いのほか、十キロ余りの自転車での通勤は、私に限りない爽快感と活気を与えてくれます。勤め始めのころは、園到着とともに子供達の容体の申し送り、朝食の介助、歯磨き、着替え、

ある準夜勤の日のことです。ひとりの女の子がベットで、半身を上げたり下げたり、何訴えているのです。何を訴えいるのかなかなか分かりませ。その時の目は、まばたきもせり真剣に私を見つめては他の子ベットへ視線を移したり、自由な手を使つて私に分かって、らおうと懸命です。でも私に彼女の要求していることが理できず、時間がたつにつれて、どかしく述べなつてきました。まるでクイズ番組の解答者のうに思案投げ首した結果、一時間ほどしてやっと、その子が言っていることが、彼女のカセトテープが他の子のラジカセに入っているので取つて頂戴と云

また、一日に何回となく痙攣^{けいれん}を繰り返して、神様はこんな小さな体を見ると、罪のない子ども達にどうして涙を流すことを心がけました。

が分かり、嬉しい目、悲しい目
といふらかずつですが目と目を
見つめ合いながら話しかけるこ
とができるようになりました。
それから子ども達は園からの
外出を大変喜びます。ビールまつ
り、福祉まつり、海水浴、海洋
博記念公園への遠足、スーパー
での買物と遠くは中南部まで中
かけます。それらの外出はその
日の子ども達の健康状態と相談
しながら決めるものですから、
外出の許可が知らされると、全
身で喜びを表わします。目的の
場所へ行つても、飲み物やお菓
子類にはさほど興味を示さず、
ただ園外での触れ合いを楽しんで
いるようです。

このようにして一年が過ぎた
今では目と目でちょっとした仕
草、例えば「はいそっです。いい
え違います。用便、御免なさい、
お願ひ」などの会話ができると
うになりました。そして子ども
達の目の動きや表情で健康状態

現をしつかりと表情で表わしていくこと、意志表示、喜怒哀楽の表情をしつかりと表現で表わしていくこともはつきり分かつた時が感動しました。

す。私がカセットテープを取り出し、これ、と示すと飛びあがらんばかりの喜びようです。さきら輝く目を見つめ合いながら、「やつと貴女のクイズが解けたね。」と握手をしながら喜び笑ふ。



▲今帰仁城跡への散歩

あしたの会（北部地区言語障害児を持つ親の会・宮里紀和会長）の「親子ふれあいキャンプ」が七月二十三日と二十四日の両日、村コミュニティセンターで行われた。

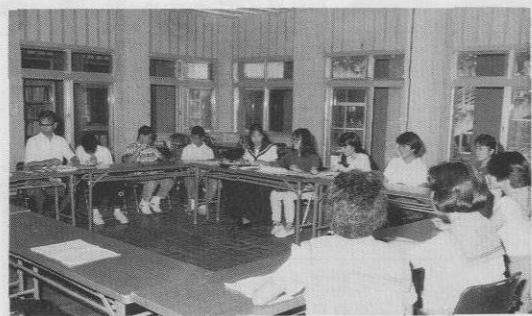
キャンプは、言語障害児と、その親、家族、言語を専門に担当する者が一堂に会し、短期集団生活によって親子のふれあい

を行った。

大浜（ウツバマ）での海水浴、花火大会、今帰仁城跡への散歩などの催しのほか、夜、子どもが寝静まつた後、講師の先生方を交えての懇談会や、同じ言語障害児を持つ親としての貴重な体験を聞いたり、悩みを話し合ったり、アドバイスを受けたり、夜を徹して交流を深めた。

「今回のキャンプに当たり、名護学院、いしなく共作業所、北山高校生など、たくさんのボランティアの協力でスムーズな運営ができた。父親の参加も年々増えたのもしく思える」と関係者は喜びを語っていた。

百四十四人の参加があり、百九十四人の参加がありました。



▲ジュニアリーダー研修

エニアリーダークラブ総会がそれぞれ七月九日と十六日に村中央公民館で開かれた。研修会には、各字子ども会の正副会長、書記、会計ら役員九十名が参加、「子供会活動の記録のしかた」について、これまで村社会教育指導員を勤めてきた山内昌雄氏の指導を受けた。また、配布された資料に基づいて活動記録や会員名簿の保管、引き継ぎの大切さも学び、早速各字の子供会で実践していくことになった。

また、村ジュニアリーダークラブの総会では、昭和六十三年度の新役員の選出と活動計画が話し合われ、ジュニアリーダーは、子供会をリードし、よき相談相手として一緒に行動できる身軽な人であるとの役割を確認した。

八月以降の主な計画として、

九州地区子ども会ジュニアリーダー大会派遣（熊本県立豊

い）

お詫び

■八月号五ページの※写真は新しく民生委員になられた皆さんです。とあるのは、母子保健推進員の誤りでした。お詫びして訂正します。



▲寄贈された数々の品

チャリティゴルフ大会

ありがとうございました

福祉資金

1,619,290円造成

の「第一回今帰仁村社会福祉造成チャリティゴルフ大会」（松田幸福村長（大会長）・金城康登競技委員長）が七月二十九日から三十一日の三日間にわたりて本部グリーンパークで行われました。

母子、心身障害者を対象とした思いやりのある社会福祉活動の充実、そのための施設、備品の強化を図る目的で開催された大会に、各方面から多大なご理解、ご協力、多数のご寄附が寄せられました。

また、大会には述べ七百九十四人の参加があり、百九十四人の参加がありました。

百六十一万九千二百九十九円の社会福祉資金を造成することができます。関係者を喜ばせています。

皆様のご協力とご芳志ありがとうございます。

つきましてはおつてお知らせします。

始球式をする松田村長



第1回社会福祉資金造成チャリティゴルフ大会報告書

収入

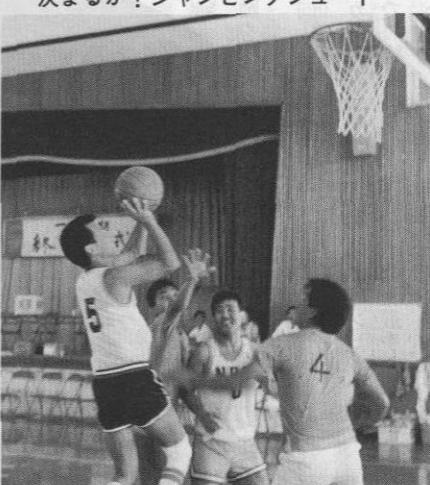
○チケット販売	916,500
○寄附金	430,500
○当日券参加者	241,500
○挑戦参加者	22,000
○ワンオンコンテスト	56,200
○オーケーション（表彰台にて）	25,400
○協力金（グリーンパークより）	50,000
合 計	1,742,100

支出

○コンペクラブ代・レインボーワーク断幕	10,200
○賞品代（扇風機2台・洗濯機1台）	42,400
○消耗品	10,560
○切手代	3,600
○表彰式諸経費	32,850
○報告会	23,200
合 計	122,810

1,742,100 - 122,810 = 1,619,290円

競技種目は、男女バレーボール、庭球、剣道が北山高校で、男子バスケット、沖縄相撲、江戸相撲が今中で、卓球が今小でそれぞれ熱戦がくりひろげられた。対戦の結果、各競技にわたって得点を重ねた湧川チームが二十点を獲得し総合優勝、準優勝は十七点の天底チーム、三位は、仲宗根、四位は謝名・越地、五位は勢理客・渡喜仁、六位は兩運天チームの順位でした。



球格技大会種別成績

種 目	優 勝	準 優 勝	3 位	4 位
バレーボール（男子）	崎・平	今 泊	湧 川	仲宗根
” ” （女子）	仲宗根	湧 川	謝・越	天 底
バスケットボール	仲宗根	兼・諸	勢・渡	湧 川
庭 球	湧 川	兩 運	謝・越	
卓 球	謝・越	湧 川		
剣 道	兩 運	与・仲		
沖 繩 相 摺	天 底	勢・渡	今 泊	
江 戸 相 摺	天 底	勢・渡		

第四十四回村球格技大会

湧川チームが総合優勝

●村民カレンダー

1988年

9

長月



9/1 木	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○健康教育（仲尾次19:30~21:30）
2 金	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○操体法（コミセン13:00~15:00） ○かぎやで風教室（コミセン8:00~10:00） ○健康教育（崎山19:30~21:30）
3 土	○健康相談（保健婦室9:00~11:00）
4 日	
5 月	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○健康教育（平敷19:30~21:30）
6 火	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○手話サークル（コミセン19:30~21:00） ○健康教育（謝名19:30~21:30）
7 水	○心配ごと相談（コミセン13:00~17:00） ○今小家庭教育学級（今小14:00~16:00） ○健康教育（仲宗根19:30~21:30）
8 木	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○歯科検診（2歳児から、コミセン13:00~14:00） ○健康教育（玉城19:30~21:30）
9 金	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○麻ん子防接種（コミセン13:00~14:00） ○乳幼児学級（中央公民館14:00~16:00） ○かぎやで風教室（コミセン8:00~10:00） ○健康教育（湧川19:30~21:30）
10 土	○おもちゃ図書館（コミセン9:00~12:00） ○健康相談（保健婦室9:00~11:00）
11 日	
12 月	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○ディケア ○健康教育（上運天19:30~21:30）
13 火	○歯科検診（2歳児 コミセン13:00~14:00） ○健康教育（渡喜仁19:30~21:30）
14 水	○心配ごと相談（コミセン13:00~17:00） ○湧小家庭教育学級（湧小14:00~16:00） ○リハビリ（コミセン） ○健康教育（古宇利19:30~21:30）
15 木	○敬老の日 ○敬老会（コミセン14:00）
16 金	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○操体法（コミセン13:00~15:00） ○乳幼児健診（コミセン13:00~14:00） ○兼小家庭教育学級（兼小14:00~16:00）

17 土	○おもちゃ図書館（コミセン9:00~12:00） ○健康相談（保健婦室9:00~11:00）
18 日	
19 月	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00）
20 火	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○手話サークル（コミセン19:30~21:00）
21 水	○心配ごと相談（コミセン13:00~17:00）
22 木	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00）
23	○秋分の日
24 土	○おもちゃ図書館（コミセン9:00~12:00） ○健康相談（保健婦室9:00~11:00）
25 日	
26 月	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00）
27 火	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00） ○手話サークル（コミセン19:30~21:00）
28 水	○心配ごと相談（コミセン13:00~17:00） ○天小家庭教育学級（天小14:00~16:00）
29 木	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00）
30 金	○ことばの教室（コミセン9:00~12:00）
10/1 土	○健康相談（保健婦室9:00~11:00）
10/2 日	



■あつぱれ沖縄水産。浜松商戦
でみせたすばらしいねばり、逆
転劇は見事である。さて真紅の
優勝旗はいつ海を渡るのか？

■このようないい夏を
乗り切るには、休暇をとつて休
養したり、スポーツを楽しむこ
ともいいでしょう。時間と金が
ゆるすなら海外旅行でリフレッ
シュしてみたい。ところが毎度
のことながら広報編集におわれ
る身、「時間がほしい」それを聞
いた周囲の弥次馬いわく、「時間
は自からつくり出すもの」なる
ほどであるが…。

■今年の夏は例年になく暑い
ですね。毎日のあいさつがわり
に交わされていることはです。
梅雨明けとともにギラギラ照り
つける猛暑が続いている。

編集後記